

<b>研究課題名</b>	当院における CIN3 合併妊娠の転帰についての検討
<b>研究の意義・目的</b>	妊娠は子宮頸癌の自然経過に悪影響を及ぼすのではないかと考えられてきましたが、予後からみると非妊娠時の子宮頸癌と同等とした報告が多く、現在は妊娠合併により子宮頸癌の治療成績には影響を及ぼさないと考えられています。そのため妊娠初期の CIN3(子宮頸部高度異形成および上皮内癌)は通常分娩後の治療となりますが、実際に分娩を経ることにより子宮頸部の病変がどうなるのかについての大規模な検討はあまり行われていません。CIN3 を妊娠中経過観察とするにあたり、分娩後は CIN3 が悪くなるのか軽くなるのか、またそこに影響を与える因子が何なのかを後方視的に検討します。
<b>研究を行う期間</b>	機関の長の実施許可日 ~ 2027 年 3 月
<b>研究協力を お願いしたい方 (対象者)</b>	2015 年 1 月~2023 年 1 2 月に大阪公立大学医学部附属病院の婦人科へ、子宮頸部異形成 (CIN3) のため受診されかつその後分娩となった方が対象となります。
<b>協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目</b>	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報： ・患者基本情報：年齢、性別、診断名、病歴、喫煙歴（妊娠時および治療時） ・身体所見：身長、体重（初診時および治療時） ・病理検査結果：組織診結果・細胞診結果（当院通院時期内） ・画像検査結果：手術例については CT、MRI
<b>試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称</b>	この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科女性病態医学のみで行います。 【研究責任者】角 俊幸
<b>個人情報の取り扱い</b>	この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、すぐには個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されます。 この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することは含まない形で公表されます。
<b>本研究の 利益相反</b>	本研究の利害関係については、各研究機関で定められた利益相反マネジメントの規定等に従って必要に応じて各研究機関の利益相反マネジメント委員会へ報告を行うことにより、利益相反を管理し研究を遂行します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
<b>研究に協力を したくない場合</b>	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。
<b>連絡先</b>	大阪公立大学医学部附属病院 婦人科 担当者氏名：田坂 玲子 電話番号：(06) -6645-3862